



YNU

教育学研究科

教育相談・支援総合センター

# 支える人を支える プロジェクト



保育、教育、介護、医療の現場において、子どもや利用者、患者を支援し、助ける専門家を「対人援助職」と呼びます。専門的知識と経験を活かし、また、人との関わりを通して「支える」仕事は、非常に重要でやりがいがある一方、多くの心理的負担を生じる可能性が指摘されています。私たちは、2019年度に対人援助職の負担軽減と専門性発揮のサポートを目指し、精神分析理論に基づいた対人理解や組織理解を継続的に提供する「支える人を支えるプロジェクト」を立ち上げました。これまで、横浜市立保育園の管理職の先生方を対象に、2回の講演会を開催しましたが、これをきっかけに、横浜市で子どもの保育・教育に携わる方々との関わりが増えてきました。今回は、昨年10月に行われた横浜市第二回接続期研修会の際に寄せられた質問を元に、精神分析理論の防衛機制について、より詳しく学ぶことを目指します。また、参加者の皆様から事前に質問をお受けし、共に考え、役に立つヒントを生み出す場になることを期待しています。

## 精神分析理論（防衛機制）による子ども・保護者理解

開催日時：2022年2月18日（金）19：00～21：00

開催方法：オンライン会議システム（zoomのミーティング）

### \* プ ロ グ ラ ム \*

19：00 趣旨説明 田村 和子先生(教育学部)

19：05～19：50 講演：杉山 明子先生（保健管理センター）

「心の対処方法を学ぶ：精神分析による防衛機制の理解」

19：50～20：50 参加者との質疑応答：事前にいただいた質問を中心に

司会：田村 和子先生

臨床心理士：杉山明子先生・山田一子先生(慶応義塾大学)

20：50～21：00 総評：井上 果子先生（教育学部）



YNU

教育学研究科

教育相談・支援総合センター

# 支える人を支える プロジェクト



## 《精神分析理論（防衛機制）による子ども・保護者理解》

これまで本プロジェクトなどで行った研修において、参加者の方から、「防衛機制の  
が分かりにくい」「投影性同一視が難しい」「より詳しい解説を知りたい」等のご意見をいただきました。防衛機制の理解は、精神分析理論の中でも基礎的なものですが、それだけに汎用性が高く、子どもや保護者の心の理解を助け、日々の保育や教育の現場で役立つと考えています。そこで今回は、防衛機制に焦点を当てるプログラムを企画いたしました。初めて精神分析に触れる方にとっては基礎編として、これまで精神分析を学ばれた方には復習編として、広くご参加いただければと思います。

また、事前に参加者からご質問を募集します。オンラインでの制限がある中ですが、臨床心理士と参加者のディスカッションを通して、精神分析理論についての質問や、日々の保育・教育現場での悩みについて、より本質的な理解と具体的な対処法を検討する学びの場にしたいと考えています。

**参加資格：保育・教育に従事し、精神分析に関心を持つ専門家**

**参加条件：zoom開催のため、オンラインでの参加が可能な方。後述の「オンライン開催に伴う注意事項」をご確認いただき、同意の上、ご参加ください。**

**参加定員：先着100名**

**参加費：無料**

**申込み締め切り：2022年2月10日(木)17時まで**

※定員に達した時点で締め切らせていただきます。

**申込み方法：以下のメールアドレスに、必要事項を記載してお申し込みください。**

**メールアドレス：[sasaeru-ynu@ynu.ac.jp](mailto:sasaeru-ynu@ynu.ac.jp)**

**件名：「支えるプロジェクト参加申し込み」**

**本文：「お名前・ご所属・職名・ご連絡先(メール)・質問および検討したいこと」**

**申込後の流れ：申し込みが完了しましたら、こちらからメールにてご連絡いたします。**

**2月15日(火)までに、オンライン開催に伴う注意事項と、zoomミーティングのID等をお送りします。**

後援：YNU Next Urban Lab 活動代表：井上果子(教育学部)

分担者：杉山明子(保健管理センター) 田村和子(教育学部)



YNU

教育学研究科

教育相談・支援総合センター

# 支える人を支える プロジェクト



## \*オンライン開催に伴う注意事項\*

本研修会は、以下の注意事項をご確認いただき、ご同意の上でのご参加となります。

- 研修会で取り扱われた個人情報について守秘義務を遵守する。
- 研修会に関するURL・ID・パスワード等は、自分以外の第三者に伝えない。
- 研修会に関するURL・ID・パスワード等は、譲渡しない。
- 一つのデバイス（PC、タブレット等）で複数人の視聴を行わない。（職場から複数人でご参加の場合、事前にその旨をご連絡ください）
- 撮影・録音・録画・画面キャプチャ等の記録行為は一切行わない。
- 研修会参加中は、常に自分の名前を表示する。
- 司会者や講師等が求めた場合には、カメラをオンにして、自分を映す。
- 自宅、自室など、プライバシーが守られる環境を確保して参加する。（音声周囲・隣室等の他者に漏れる場合は、イヤホンやヘッドホンを使用する）
- セキュリティが確保されているネットワークを使用する。（公開されている無料のWi-FiやLANサービスは避ける）

参加される皆さんにとって、有意義な場となるよう、ルールを守ってのご参加に、ご協力をお願いいたします。